

平成 30 年度第 2 回外部評価委員会での主な意見

平成 30 年 7 月 24 日(火)15:00～17:00

市役所 4階 大会議室

議 事

1. 第 1 回委員会会議録（要約）について

<会議録について>

- ・委員会については会議録を作成。会議資料では委員氏名が入ったもの。
- ・市ホームページには会議について情報を掲載しているが、その際には氏名は伏せた、簡略版を掲載予定。

2. 評価対象事業の平成 27～29 年度の進捗状況について

進捗に遅れのある 5 事業の検証について説明と質疑応答

■放課後児童クラブ運営事業（放課後児童クラブの運営支援）

- ・神坂地区は対象児童が 4～5 人しかいないとのことだったが、阿木地区は何人いて放課後児童クラブ設置に至っているのか。
- ・阿木事務所内のみちくさ教室は小学校と近いので児童が利用しやすいが、神坂地区では小学校と神坂事務所が離れていて利用が難しいと思う。
- ・学童に入っている、いないに関わらず、子どもが集まる場があると良い。
- ・中津川市独自のものは大切。財政状況の厳しい市町村の取り組みを参考にすることが大切。
- ・今どこの地区でも、老人会の人や登下校の見守りをしている。時間がある人に放課後子どもを見てもらえないかといった提案を地域にしてほしい。
- ・民間の視点で意見を言っているが、市としていろいろな地域の事情を踏まえて検討し、引き続き取り組んでほしい。

■子育て支援事業（子育て支援センターの機能強化）

- ・目標に対して、なかなかうまくいっていないのか。継続して努力しているのか。
- ・お母さん方は、自分が子育てしているときは運営に協力してくれるが、5 年、10 年先の担い手を今から育成していくのは難しい。
- ・もっと地域の事情を把握しておいてから計画を立てるべきではないか。
- ・事業内容が「なんでも相談窓口」や支援員の育成などから団体育成に進んだので、充実した部分もあると思う。
- ・そもそも支援センターは必要か。コミセンを使いながらできるものではないか。
- ・未設置地区（坂下、蛭川）に子育て支援センターを設置すると未設置地区をすべて解消できるということか。
- ・補助ありきの施策ではなく、まち協や社協と連携してやれないか。

■8 万人のヘルスアップ事業（健康増進の取り組みの推進）

- ・目標を下げるのではなく、高い目標をどうやって達成していくのかを話し合いたい。目標をクリアするために、市民の声をアンケートなどで集めることからやっていってはどうか。
- ・健康の取り組みは横の連携を多方面で行っていると思うが、まだまだ工夫して力を入れ

るところがあると思う。

- ・目標は高い方が良いので、目標に向かって努力することをお願いしたい。

■消防設備整備の事業（消防施設の整備／消防団の充実強化）

■消防施設建設事業（消防団の充実強化）

- ・予算に限りがあるので、計画どおり整備できないのは仕方がないことではあると思う。
- ・命を守るものなので費用をどこかで捻出して何とか対応してほしい。民間の力を借りることは検討しているか。たとえば、企業がいくらかお金を出し合うなど、商工会議所と話をされたらどうか。
- ・優先順位を決めて進めており、努力は皆わかっていると思うので、それはそれで良い。補助金の制度変更による進捗の遅れであれば、達成率を上げるために目標値を下げる必要はないと思う。